

# 令和2年度 簿記実務検定第2級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	当 座 預 金	受 取 手 形	売 掛 金
積 送 品	未 収 金	仮 払 法 人 税 等	備 品
備品減価償却累計額	支 払 手 形	買 掛 金	未 払 法 人 税 等
未 払 配 当 金	資 本 金	資 本 準 備 金	売 上
固 定 資 産 売 却 益	仕 入	手 形 売 却 損	創 立 費
株 式 交 付 費	固 定 資 産 売 却 損	支 店	本 店
法 人 税 等	損 益		

- a. かねて、新潟商店に販売を委託してあった商品（仕入原価  $\yen 442,000$  発送諸掛  $\yen 19,000$ ）について、同店から売り上げの報告とともに、当店の当座預金口座に  $\yen 622,000$  の振り込みがあった。
- b. 奈良商事株式会社は、株主総会で決議された配当金  $\yen 3,720,000$  の支払いを全商銀行に委託し、小切手を振り出して支払った。
- c. 和歌山商会は、取得原価  $\yen 500,000$  の商品陳列用ケースを  $\yen 80,000$  で売却し、代金は月末に受け取ることにした。なお、この商品陳列用ケースに対する減価償却累計額は  $\yen 400,000$  であり、これまでの減価償却高は間接法で記帳している。
- d. 富山商店の本店は、決算の結果、支店が当期純利益  $\yen 240,000$  を計上したとの通知を受けた。  
(本店の仕訳)
- e. 京都商店から注文のあった商品  $\yen 2,100,000$  を発送し、代金の80%については、取引銀行で荷為替を取り組み、割引料  $\yen 13,000$  を差し引かれた手取金は当座預金とした。なお、残額は掛けとした。
- f. 大阪商事株式会社は、企業規模拡大のため、あらたに株式500株を1株につき  $\yen 70,000$  で発行し、全額の引き受け、払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株の払込金額のうち  $\yen 30,000$  は資本金に計上しないことにした。なお、この株式の発行に要した諸費用  $\yen 480,000$  は小切手を振り出して支払った。
- g. 石川商事株式会社（決算年/回）は、決算にあたり、当期の法人税・住民税及び事業税の合計額  $\yen 2,950,000$  を計上した。ただし、中間申告のさい  $\yen 1,210,000$  を納付しており、仮払法人税等勘定で処理している。

2

- 次の取引を特殊仕訳帳としての当座預金出納帳と仕入帳に記入し、総勘定元帳と買掛金元帳に転記しなさい。
- ただし、
- i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
  - ii 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
  - iii すでに記入してある取引も転記すること。
  - iv 総勘定元帳と買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
  - v ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳と売上帳を用いている。

## 取 引

1/月/5日 神戸商店から/4日に仕入れた商品について、次のとおり値引きを受けた。なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

A 品          50個          @ ¥ 140          ¥ 7,000

20日 明石商店に対する買掛金 ¥310,000 を小切手を振り出して支払った。

27日 明石商店から次の商品を仕入れ、代金のうち ¥60,000 は小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした。

B 品          200個          @ ¥ 920          ¥184,000

30日 西宮商店から受け取っていた約束手形 ¥145,000 が、本日、満期となり当座預金口座に振り込まれたとの連絡を取引銀行から受けた。

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 支店会計が独立している北海道商店（個人企業）の下記の資料と本支店合併後の貸借対照表によって、次の金額を計算しなさい。

a. 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額

b. 本支店合併後の当期純利益（アの金額）

## 資 料

- i 1/2月30日における元帳勘定残高（一部）

	本 店	支 店
現 金	¥ 380,000	¥ 274,000
当 座 預 金	1,468,000	1,087,000
買 掛 金	820,000	465,000
支 店	419,000 (借方)	—
本 店	—	334,000 (貸方)

- ii 1/2月3/日における本支店の取引

- ① 本店は、支店の買掛金 ¥62,000

を現金で支払った。

支店は、その報告を受けた。

- ② 本店は、支店の広告料 ¥120,000

を小切手を振り出して立て替え払いした。

支店は、その報告を受けた。

- ③ 本店は、支店が1/2月29日に送付し

ていた商品 ¥85,000 (原価) を受け取った。

[本支店合併後の貸借対照表]

## 貸 借 対 照 表

北海道商店		令和〇年/2月3/日		(単位:円)
資 産	金 額	負債・純資産	金 額	
現 金	( )	支 払 手 形	1,620,000	
当 座 預 金	( )	買 掛 金	( )	
売 掛 金	2,260,000	資 本 金	5,000,000	
商 品	1,466,000	当 期 純 利 益	( ア )	
備 品	1,920,000			
	( )			

- (2) 三重商店では伝票制を採用し、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。よって、
- a. 6月/日の略式の伝票を集計したさいの仕訳集計表の(ア)と(イ)に入る金額を計算しなさい。ただし、下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで計算すること。
- b. 下記の伝票から、買掛金元帳に転記後の仕入先伊勢商店に対する買掛金の残高を計算しなさい。

取 引

6月 /日 松阪商店に商品 ¥345,000 を売り上げ、代金の一部を小切手 ¥145,000 で受け取り、残額は掛けとした。

入金伝票	
売掛金(志摩商店)	120,000
当座預金	25,000
受取手数料	9,000
( ) ( )	

出金伝票	
当座預金	90,000
消耗品費	6,000
買掛金(伊勢商店)	120,000
( ) ( )	

売上传票	
津商店	468,000
志摩商店	200,000
亀山商店(返品)	22,000
( ) ( )	

仕入伝票	
鈴鹿商店	395,000
伊勢商店	285,000
鳥羽商店(値引)	3,000
四日市商店	162,000

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
支払手形	84,000	当座預金	84,000
当座預金	365,000	売掛金(津商店)	365,000
買掛金(伊勢商店)	150,000	支払手形	150,000
買掛金(鈴鹿商店)	125,000	前払金	125,000
当座預金	268,000	売掛金(亀山商店)	268,000
( ) ( )		( ) ( )	

仕訳集計表  
令和〇年6月/日

借方	平	勘定科目	平	貸方
		現金		
		当座預金		
		売掛金		(ア)
		前払金		
		支払手形		
		買掛金		
		売上		
		受取手数料		
		仕入		
		消耗品費		
(イ)				(イ)

買掛金元帳

伊勢商店		2
6/1 前月繰越	531,000	

- (3) 福井物産株式会社(決算年/回 3月3/日)は、第/期初頭に次の条件で社債を割引発行していたが、第20期末に社債 額面 ¥6,000,000 すべてを小切手を振り出して償還した。ただし、社債の評価については償却原価法(定額法)によっている。よって、下記の各問いに答えなさい。

発行条件 額面総額 ¥6,000,000 払込金額 額面 ¥100につき ¥98.00  
償還期限 10年 利率 年2% 利払い 年2回

- a. 第20期末における次の各勘定の(①)と(②)に入る金額を記入しなさい。

社債利息		社債	
9/30 当座預金	60,000	3/31 損益(①)	3/31 当座預金(②)
3/31 当座預金	60,000		4/1 前期繰越
〃 社債	( )		5,988,000
	( )		3/31( ) ( )
	( )		( ) ( )

- b. 第20期末におこなった社債の償還方法を、次の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

1. 抽せん償還      2. 買入償還      3. 満期償還

4

滋賀商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は、次のとおりであった。よって、精算表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 930,000	当座預金	¥ 1,150,000	受取手形	¥ 770,000
売掛金	1,630,000	貸倒引当金	9,000	有価証券	1,450,000
繰越商品	960,000	貸付金	800,000	建物	4,000,000
建物減価償却累計額	1,800,000	備品	1,200,000	備品減価償却累計額	240,000
土地	1,600,000	支払手形	1,570,000	買掛金	2,200,000
資本金	8,000,000	売上	19,063,000	受取地代	42,000
受取利息	24,000	仕入	12,910,000	給料	4,620,000
保険料	824,000	消耗品費	87,000	雑費	17,000

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥ 840,000
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ/%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 減価償却高 建物：定額法による。ただし、残存価額は零（0）耐用年数は20年とする。  
備品：定率法による。ただし、償却率は20%とする。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。  
彦根商事株式会社 500株 時価 /株 ¥ 3,100
- e. 消耗品未使用高 ¥ 43,000
- f. 保険料前払高 保険料のうち ¥ 504,000 は、本年9月/日からの/年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- g. 地代前受高 ¥ 14,000
- h. 利息未収高 ¥ 8,000

令和2年度 簿記実務検定 2級 **商業簿記** [解答用紙]

<b>1</b>	借	方	貸	方
	a			
	b			
	c			
	d			
	e			
	f			
	g			

<b>1</b> 得点		<b>2</b> 得点		<b>3</b> 得点		<b>4</b> 得点		総得点	
----------------	--	----------------	--	----------------	--	----------------	--	-----	--

試 験 場 校	受 験 番 号



総勘定元帳

現金 1	当座預金 2
1/1 前期繰越 612,000	1/1 前期繰越 880,000
受取手形 3	売掛金 4
1/1 前期繰越 740,000	1/1 前期繰越 1,630,000
買掛金 15	売上 20
1/1 前期繰越 1,138,000	
仕入 24	

買掛金元帳

明石商店 1	神戸商店 2
1/1 前月繰越 560,000	1/1 前月繰越 27,000

3

- (1) 

a 支店勘定残高と 本店勘定残高の 一致額	b 本支店合併後の 当期純利益 (アの金額)
-----------------------------	------------------------------
- (2) 

a ア	イ
¥	¥
b	
¥	
- (3) 

a ①	②
¥	¥
b	

<b>2</b>	
得点	

<b>3</b>	
得点	

4

精 算 表  
令和〇年 12月31日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	930,000							
当座預金	1,150,000							
受取手形	770,000							
売掛金	1,630,000							
貸倒引当金		9,000						
有価証券	1,450,000							
繰越商品	960,000							
貸付金	800,000							
建物	4,000,000							
建物減価償却累計額		1,800,000						
備品	1,200,000							
備品減価償却累計額		240,000						
土地	1,600,000							
支払手形		1,570,000						
買掛金		2,200,000						
資本金		8,000,000						
売上		19,063,000						
受取地代		42,000						
受取利息		24,000						
仕入	12,910,000							
給料	4,620,000							
保険料	824,000							
消耗品費	87,000							
雑費	17,000							
	32,948,000	32,948,000						
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
有価証券評価( )								
消耗品								
前払保険料								
( )地代								
( )利息								
当期純( )								

4

得点

借方		貸方	
a	当座預金 仕入	622,000 461,000	売上 積送品
b	未払配当金	3,720,000	当座預金
c	備品減価償却累計額 未収金 固定資産売却損	400,000 80,000 20,000	備品
d	支店	240,000	損益
e	当座預金 売却損 掛金	1,667,000 13,000 420,000	売上
f	当座預金 株式交付費	35,000,000 480,000	資本準備金 資本座預金
g	法人税等	2,950,000	仮払法人税等 未払法人税等

2

当座預金出納帳

令和○年	勘定科目	摘要	元子	売掛金	諸口	令和○年	勘定科目	摘要	元子	買掛金	諸口
/ 10	売上	前々月から 姫路商店	√	820,000	510,000	前々月から 明石商店	買1	360,000	240,000		
30	受取手形	約手入金	3		350,000	1	20	310,000			
				820,000	145,000		27	60,000			
					1,005,000			300,000			
31					820,000			670,000			
					1,825,000			970,000			
					880,000			1,735,000			
					2,705,000			2,705,000			

仕入帳

令和○年	勘定科目	摘要	元子	買掛金	諸口
/ 14	現金	前々月から 神戸商店	√	480,000	230,000
	買掛金		買2	168,000	112,000
15	買掛金	神戸商店 A品 50個 @ ¥140	買2	7,000	
27	当座預金	明石商店 小切手	√		60,000
	買掛金	B品 200個 @ ¥920	買1	124,000	
31				772,000	402,000
					772,000
					1,174,000
					7,000
					1,167,000

精算表  
令和〇年/2月31日

4

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	930,000						930,000	
当座預金	1,150,000						1,150,000	
受取手形	770,000						770,000	
売掛金	1,630,000						1,630,000	
貸倒引当金		9,000		15,000				24,000
有価証券	1,450,000		100,000				1,550,000	
繰越商品	960,000		840,000	960,000			840,000	
貸付金	800,000						800,000	
建物	4,000,000						4,000,000	
建物減価償却累計額		1,800,000		200,000				2,000,000
備品	1,200,000						1,200,000	
備品減価償却累計額		240,000		192,000				432,000
土地	1,600,000						1,600,000	
支払手形		1,570,000						1,570,000
買掛金		2,200,000						2,200,000
資本		8,000,000						8,000,000
売上		19,063,000				19,063,000		
受取地代		42,000		14,000				28,000
受取利息		24,000						32,000
仕入	12,910,000		960,000	840,000		13,030,000		
給料	4,620,000					4,620,000		
保険料	824,000			336,000		488,000		
消耗品費	87,000			43,000		44,000		
雑費	17,000					17,000		
貸倒引当金繰入		32,948,000						
貸倒引当金繰入			15,000			15,000		
減価償却費			392,000			392,000		
有価証券評価(益)				100,000				100,000
消耗品			43,000					43,000
前払保険料			336,000					336,000
(前受)地代				14,000				14,000
(未収)利息				8,000				8,000
当期純(利益)			2,708,000			19,223,000		14,857,000

総勘定元帳

現金		当座預金	
1	2	1/31	2
1/1 前期繰越	612,000	880,000	970,000
31	1,825,000		
受取手形			
1/1 前期繰越	740,000	1,630,000	820,000
1/31	7,000		
買掛金			
1/1 前期繰越	145,000		
31	772,000		
仕入			
1/1 前期繰越	1,174,000		
1/31	7,000		
買掛金元帳			
明石商店		神戸商店	
1/20	310,000	1/15	7,000
1/1 前期繰越	560,000	1/1 前期繰越	27,000
27	124,000	14	168,000

3

a	支店勘定残高と本店勘定残高の差額	516,000	本支店合併後の当期純利益(アの金額)	830,000
a	7	920,000	イ	3,387,000
b		546,000		
a	①	132,000	②	6,000,000
b	3			